

関東大震災の衝撃 ～ 表現者が見たもの

関東圏に甚大な被害を及ぼした関東大震災から、今年でちょうど100年。多くの建物が倒壊し、道路は寸断、死傷者の殆どは火災によるものだったと検証されています。

被災した人々には、当然ながら文学者も含まれます。彼ら彼女らはこの稀有な体験をどのように受け止め、そこから何を学び、その後の文学活動はどのように展開したのでしょうか。

今回は、関東大震災の衝撃が文学者にもたらしたものについて多角的に考えたいと思います。

本年、『震災日録—記憶を記録する』（岩波新書）『聞き書き・関東大震災』（亜紀書房）を上梓された作家の森まゆみさんには、「わが町の関東大震災—犀星も野上弥生子も芥川もいた」と題するお話をうかがいます。

第2部は、歌人による鼎談をおこないます。明星研究会から、松平盟子が「晶子の『瑠璃光』は有島武郎の死と関東大震災を抱き合わせた挽歌集」、前田宏が「大震災と歌壇の刷新—同人誌『日光』の誕生」、米川千嘉子が「大震災と岡本かの子『浴身』」をテーマとし、存分に語り合います。従来にない新たな見地を展望できれば幸いです。

遠方から視聴される皆さまにお応えすべく、今回もZoomにて開催いたします。参加を希望される皆さまは以下のサイトからお申し込み下さい。

●プログラム●

第1部 講演

「わが町の関東大震災—犀星も野上弥生子も芥川もいた」 森まゆみ（作家）

第2部 鼎談

「歌人たちは大震災をどう詠み、何を考えたか？」 晶子・白秋・夕暮・かの子」
松平盟子（歌人） 前田宏（歌人） 米川千嘉子（歌人）

●日時● 2023年12月3日（日） 14時～16時30分

●場所● Zoom オンラインで開催します

●申し込み手順● 下記1から2と進んでください

[明星研究会 HP : myojo-k.net](http://myojo-k.net)でも確認できます

1. 以下の口座に、参加費一人2千円、
をお振り込み願います
三井住友銀行 下丸子支店
(普通) 3897723
受取人名: AKIKO 2005 YE
AR ダイヒヨウ マツダイラ メイコ

2. お振込み後に、下記にアクセスして必要
事項を記入し送信していただいでお申し込み
が完了します。前日を目途に当方から Zoom
のアクセス先をメールで送ります
<https://bit.ly/3ZEktOk>



●申し込み〆切● 11月30日（木）15:00（定員100名）

●協力・後援● 10月23日現在

落合直文顕彰会 日本現代詩歌文学館 与謝野晶子倶楽部

秦野市教育委員会・前田夕暮記念室（予定）